

ウェルフェア イズ ラヴ

2024年8月29日 号

最近の福祉におけるキニナル話題（福祉の旬トピ ）

アルツハイマー型認知症に伴う、「暴言や暴力などの症状に対する」治療薬が、来月にも承認されるようです。どうやら、うつ病などの治療薬である「ブレクスピプラゾール」（商品名：レキサルティ）という薬剤を用いるようで、米国などでは既にアルツハイマー型認知症に伴う暴言や暴力などの症状に対する治療薬として承認されているようです。

主に症状が進行した患者が対象で、不安を和らげるようなケアを工夫し、漢方薬などの効果が乏しい場合の選択肢であり、転倒に繋がる副作用もあるため、慎重に使う必要があるようなので、簡単に使える薬剤ではないのかもしれないけれど、認知症介護で悩まされるのは中核症状である記憶障害等よりも、周辺症状と呼ばれる徘徊や、今回対象になっている暴言や暴力である場合がほとんどだと思います。

特に、いくら「病気による症状」と理解していても、あるいは専門知識や資格を持っていたとしても、ケアする側も感情を持った人間…。暴言や暴力を自分に向けられてしまうと、やはり心がザワつくし、心が折れ、燃え尽きてしまうこともある。特に家族介護であればなおのことだと思う…。そして、「病気による症状」として、暴言や暴力を発してしまうご本人もとっても苦しいはず…。

薬剤の力を借りることで、そういった症状を緩和できれば、ご本人もご家族も今よりラクに生活を送ることができると思うので、期待したい事柄のひとつと感じます。

スタッフのヒトリゴト

私事ですが、当事業所代表は今月18日に41歳になりました。40歳になったからか、昨年あたりから居住自治体からの健診のお知らせがちょくちょく届くようになりました。

先月は歯科検診を受診し、先日は大腸がん検診を受診しました。と言っても大腸がん検診はいわゆる検便提出のため、今は結果待ちの状態ですが。

永く、当事業所を運営するためにも、社会福祉士としての自己管理の一環としても、そして私自身が永く健康であるためにも、健診の機会は大切にしたいと思います。

♡LOVE のラブラブな実践♡

高松市障がい福祉課が、今年度より「障がいのある方をサポートするときの災害対応のてびき」を新たに作成されたようで、ホームページ上で公開されておりました。

当事業所代表も拝読しましたが、内容的には

○「たかまつあんしんばんダナ」や「たかまつあんしん楽楽ボード」等の災害対応支援時に役立つツールの紹介

○視覚、聴覚・言語、肢体、内部、知的・発達、精神の各障がい別のサポートするときのポイント

が詳しく記されております。「地域共生社会」は本来、身近に障がいや何らかのハンディキャップを持っている方が共に生活されていることがむしろ当然の社会のこと。いざという時に、100%とは難しくても、少しでも適切な対応をとることができ、結果としてお互いのストレスや疲労感を軽減するためにも、こういったてびきは重要な役割を果たすと思います。てびきが掲載されているページのリンクを貼っておきます。

[障がいのある方をサポートするときの災害対応のてびき | 高松市 \(city.takamatsu.kagawa.jp\)](https://city.takamatsu.kagawa.jp/)

なお、障がいのある方向けの「障がいのある方のための災害対応のてびき」も同じページに掲載されていることを、合わせてお伝えしておきます。

県内の福祉イベント案内 他♪

9月21日（土）に、「令和6年度 高松市障害者スポーツ大会」が、かがわ総合リハビリテーションセンター 体育館で開催されます。

①身体障害者手帳を有する、②令和6年4月1日時点で満18歳以上の、③高松市民、であることが参加条件ではありますが、関心のある方は参加されてはいかがでしょうか。当事業所代表も参加予定です。

申込・問い合わせは、8月30日（金）までに、高松市身体障害者協会（電話：087・880・1643）まで。

発行 社会福祉士相談所 LOVE

住所 〒761-8071 香川県高松市伏石町1562番地 伏石ハイツ第1 201号

電話 090-7780-7565

メール you-19830818@outlook.jp

ホームページ <https://lovesocialworker.com/>

転載や拡散、配布大歓迎！！

来週号も乞うご期待♡